UPKI 申請システム 操作マニュアル 機関責任者、登録担当者用

	改版履歴				
版数	版数 日付 内容 担当				
初版 2016/3/17 初版発行 UPKI 担当		UPKI 担当			
第2版	2016/12/12	登録担当者用証明書更新申請を追加	UPKI 担当		

UPKI 申請システム 操作マニュアル 目次

1	は	じめに	5
	1.1	本書の目的	5
	1.2	提供する機能	5
	1.3	用語の定義	5
2	口;	グイン認証	6
	2.1	サインアップ	6
	2.2	ID・パスワードによるログイン	11
	2.3	クライアント証明書によるログイン	13
	2.4	ログアウト	15
	2.4	4.1 ログアウト (ID・パスワードによるログインの場合)	15
	2.4	1.2 ログアウト(クライアント証明書によるログインの場合)	17
3	ダン	ッシュボード	19
	3.1	ダッシュボード(サービス利用開始前)	
	3.2	ダッシュボード(サービス利用開始後)	21
	3.3	お知らせ閲覧	23
4	申請	清書管理	24
_	4.1	申請書管理	
	4.2	申請参照画面	
	4.3	申請編集画面	27
	4.4	申請提出画面	28
	4.5	申請書 更新通知メール	29
	4.6	申請一覧	30
	4.7	オンラインチェック	31
5	申記	請書作成・編集	33
	5.1	サービス利用申請	33
	5.1	!.1 サービス利用申請	33
	5.1	1.2 マスタ登録依頼申請	36
	5.2	ドメイン申請	38
	5.2	2.1 ドメイン申請	38
	5.2	2.2 確認実施手順調査票	39
	5.2	2.3 機関責任者確認事項	42
	5.3	機関情報変更申請	43
	5.3	3.1 機関情報変更申請	43

<i>5.3</i>	3.2	機関責任者確認事項	. 46
		₹担当者情報変更届	
5.4	1.1	登録担当者情報変更届	. 47
5.4	1.2	確認実施手順調査票	. 49
5.4	4.3	機関責任者確認事項	. 52
5.5	利用]期間更新申請	.53
5.6	登録	·担当者用証明書更新申請	. 54
5.6	3.1	登録担当者用証明書更新申請	. 54

1 はじめに

1.1 本書の目的

本文書では UPKI 申請システム(以下「当システム」)の操作手順について説明します。

1.2 提供する機能

当システムは以下の機能を提供します。

- ログイン認証
- ダッシュボード
- 申請書管理
- 申請書作成・編集
 - ▶ サービス利用申請
 - ▶ ドメイン申請
 - ▶ 機関情報変更申請
 - 登録担当者情報変更届
 - ▶ 利用期間更新申請

1.3 用語の定義

- トップページ ... 当システムのトップページを指します。具体的には以下の URL でアクセスします。
 - https://certs-office.nii.ac.jp
- オンラインチェック ... 機関責任者による申請書への押印の代替として、UPKI 申請システム上で機関責任者が申請書を承認することを指します。オンラインチェックを行うためには、機関責任者がクライアント証明書を保持していること、さらに機関責任者の主体者 DN を UPKI 申請システムに登録 1することが必須です。
 - ▶ 機関責任者が登録担当者を兼ねる場合
 - ◆ 当該登録担当者が持つ登録担当者用証明書の主体者 DN を登録してください。
 - ▶ 機関責任者が登録担当者を兼ねない場合
 - ◆ 専用のクライアント証明書を発行し、その証明書の主体者 DN を登録して ください。

^{15.3.} 機関情報変更申請を参照してください。

2 ログイン認証

UPKI 申請システムでは、ID・パスワードを用いたログイン認証と、クライアント証明書を用いたログイン認証の2種類の認証方法があります。

<u>すでに登録担当者用証明書をお持ちの場合は、クライアント証明書を用いたログイン認証</u> (「2.3. クライアント証明書によるログイン」 参照) を行ってください。

ID・パスワードによるログインを行うには、事前に UPKI 申請システムへサインアップしておく必要があります。クライアント証明書によるログインを行うには、当システムにログイン可能なクライアント証明書を入手しておく必要があります。当システムにログイン可能なクライアント証明書は以下の2種類があります。

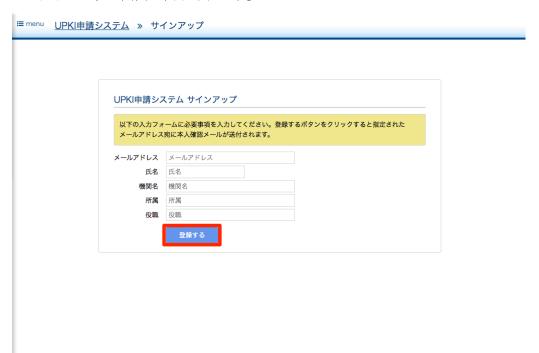
- 登録担当者用クライアント証明書 ... 当システムよりサービス利用申請、およびドメイン申請を行い、承認されることで発行されます。サービス利用開始日から取得できます。 取得操作を行い、ブラウザにインストール完了後、利用可能となります。
- 機関責任者用クライアント証明書 ... UPKI 電子証明書発行サービスを利用して発行した機関責任者のクライアント証明書を、当システムの機関情報変更申請を用いて登録することで利用可能になります。

2.1 サインアップ

1. トップページよりサインアップボタンをクリックします。



2. サインアップ画面が表示されます。



3. 表示された入力項目をすべて入力し、登録ボタンをクリックします。なお、入力項目は 以下の入力規則にしたがって入力します。

入力項目名	入力可能文字数	入力可能文字種
メールアドレス	5~x	半角英数字、半角記号
氏名	1~30	制限なし
機関名	1~40	制限なし
所属	1~40	制限なし
役職	1~25	制限なし

4. 登録ボタンをクリックすると入力したメールアドレス宛にパスワードを記載した本人確認メールが送信され、メール送信完了画面が表示されます。

確認メールが送信され、メール送信完了画面が表示されます。			
≔ menu <u>UPKI申請システム</u> » メール送信			
	本人確認メールを送信しました。		
	サインアップは完了していません。メール本文に記載されている手順にしたがってアカウントの有効化を行ってください。		

本人確認メール (赤字部分はシステムが生成します)

件名

UPKI 申請システム サインアップ確認メール

本文

【入力したメールアドレス】さん

UPKI 申請システムへのサインアップが行われました。 以下のリンクをクリックし、UPKI 申請システムにログインください。 ログインするとあなたのアカウントが有効化されます。

<ログイン画面>

【ログイン画面の URL】

<ログインパスワード>

【発行されたパスワード】

このメールに心当たりがない方は UPKI 申請システムにお問い合わせください。

<<u>certs@nii.ac.jp</u>>

5. 本人確認メールに記載のログイン画面 URL にアクセスします。



6. サインアップ時に入力したメールアドレスと、本人確認メールに記載のパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。

7. ログインに成功するとダッシュボードが表示されます。



以上でサインアップは完了となります。

2.2 ID・パスワードによるログイン

1. トップページよりサインアップボタンをクリックします。



2. ログイン画面が表示されます。サインアップ時に入力したメールアドレス、および本人確認メールに記載のパスワードを入力して、ログインボタンをクリックします。



3. ログインに成功するとダッシュボードが表示されます。



2.3 クライアント証明書によるログイン

1. トップページよりダッシュボードボタンをクリックします。



2. クライアント証明書の選択ダイアログが表示されます。



証明書選択ダイアログは、ご利用の OS やブラウザによって異なります。

3. 事前にブラウザにインポートしたクライアント証明書を選択し、OK ボタンをクリックします。

4. クライアント証明書による認証に成功すると、ダッシュボードが表示されます。



2.4 ログアウト

ID・パスワードによるログイン認証を行っている場合と、クライアント証明書によるログイン認証を行っている場合で、ログアウト方法は異なります。

2.4.1 ログアウト (ID・パスワードによるログインの場合)

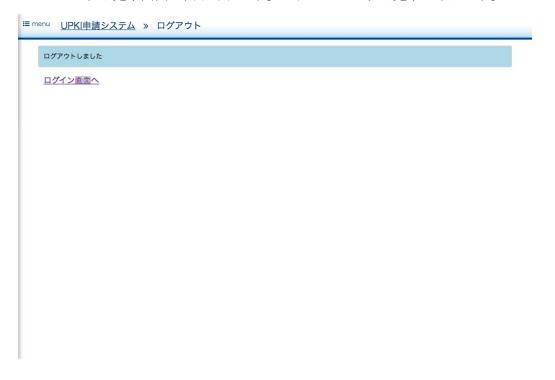
1. 画面左上のメニューリンクをクリックします。



2. 表示されたメニューの中からログアウトを選択します。



3. ログアウト完了画面が表示されます。これでログアウト完了になります。



2.4.2 ログアウト (クライアント証明書によるログインの場合)

1. 画面左上のメニューリンクをクリックします。



2. 表示されたメニューの中からログアウトを選択します。



3. ログアウト画面に以下のメッセージが表示されます。 「クライアント証明書による認証を行っているため、ログアウトするにはブラウザを終

了してください。」

クライアント証明書による認証を行っているため、ログアウトするにはブラウザを終了してください。

4. ブラウザを終了します。

≡ menu <u>UPKI申請システム</u> » ログアウト

5. これでログアウト完了となります。

3 ダッシュボード

ダッシュボード画面は、当システムの利用の起点となる画面です。

表示内容は、サービス利用開始前(サインアップ後、ID・パスワードでログインした状態) と、サービス利用開始後(発行されたクライアント証明書でログインした状態)で異なりま す。以下、それぞれの表示内容について説明します。

3.1 ダッシュボード(サービス利用開始前)



ダッシュボード表示内容

No	項目名	説明
1	メニューリンク	メニューを表示します。メニューに表示する内容につ
		いては後述します。
2	申請一覧	現在作成中、または申請中の申請を表示します。申請
		タイトルリンクをクリックすると申請内容の参照画
		面に遷移します。
3	もっと見るリンク	申請一覧画面に遷移します。
4	管理者からのお知らせ	登録担当者、および機関責任者向けのお知らせが表示
		されます。内容を見るリンクをクリックするとお知ら
		せ閲覧画面に遷移します。

(5)	サービス利用申請ボタン	サービス利用申請の新規作成画面に遷移します。
6	ドメイン申請ボタン	ドメイン申請の新規作成画面に遷移します。

メニュー表示内容

メニュー表示ラベル	アクション/遷移先
ダッシュボード	ダッシュボードに遷移します
申請一覧	申請一覧画面に遷移します
ドメイン申請	ドメイン申請の新規作成画面に遷移します
ログアウト	ログアウトします

3.2 ダッシュボード (サービス利用開始後)



ダッシュボード表示内容

No	項目名	説明
1	メニューリンク	メニューを表示します。メニューに表示する内容につ
		いては後述します。
2	申請一覧	現在作成中、または申請中の申請を表示します。申請
		タイトルリンクをクリックすると申請内容の参照画

		面に遷移します。
3	もっと見るリンク	申請一覧画面に遷移します。
4	管理者からのお知らせ	登録担当者、および機関責任者向けのお知らせが表示
		されます。内容を見るリンクをクリックするとお知ら
		せ閲覧画面に遷移します。
(5)	ドメイン情報参照タブ	ドメイン申請にて登録したドメイン情報、登録担当者
		情報を閲覧することができます。
6	機関情報表示	サービス利用申請にて登録した機関情報を閲覧する
		ことができます。

メニュー表示内容

メニュー表示ラベル	アクション/遷移先
ダッシュボード	ダッシュボードに遷移します
申請一覧	申請一覧画面に遷移します
ドメイン申請	ドメイン申請の新規作成画面に遷移します
機関情報変更申請	機関情報変更申請の新規作成画面に遷移します
登録担当者情報変更届	登録担当者情報変更届の新規作成画面に遷移します
機関情報	機関情報参照画面に遷移します
ログアウト	ログアウトします

3.3 お知らせ閲覧

お知らせ閲覧画面では、管理者から登録担当者、および機関責任者向けに配信されたお知らせを閲覧することができます。

III menu <u>UPKI申請システム</u> » 管理者からのお知らせ

【重要】SHA-1を使用した電子証明書の発行期限について

平素より本サービスをご利用いただき、まことにありがとうございます。 本サービスにおけるSHA-1を使用した電子証明書の発行期限についてご案内申し上げます。

2013年11月13日、マイクロソフト セキュリティ アドバイザリ 2880823 において、「マイクロソフト ルート証明書プログラムでの SHA-1 ハッシュ アルゴリズムの廃止」が発表※1されました。

2014年10月16日、CA/ブラウザフォーラムにて、ハッシュ関数アルゴリズム「SHA-1」を使用した証明書の発行期限および利用期限が策定されました※ 2.

「SHA-1」を使用した証明書の発行期限 : 2015年12月31日まで「SHA-1」を使用した証明書の利用期限 : 2016年12月31日まで

本サービスではSHA-1/2双方の証明書が発行可能でしたが、これらの指針にあわせ、サーバ証明書でSHA-1の発行を停止いたします。 また同時に、クライアント証明書・コード署名用証明書の全てでもSHA-1の発行を停止いたします。※3

予定日は、以下の通りです。

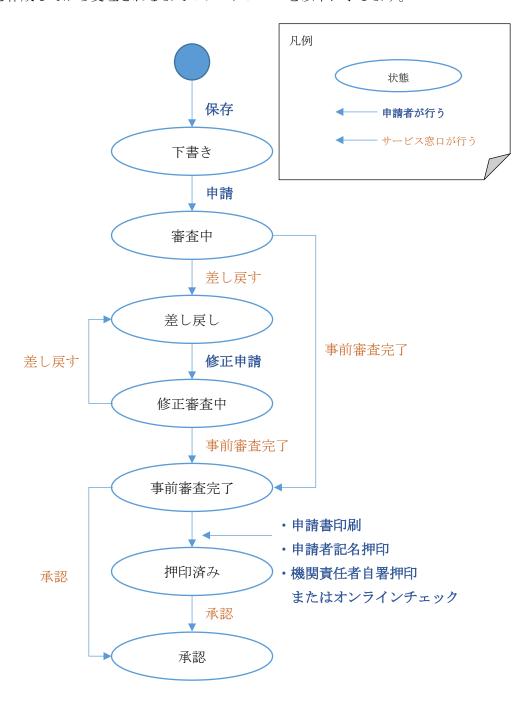
停止予定日:2015年12月28日 (発行申請は12月27日まで可能です)

4 申請書管理

4.1 申請書管理

本章では、申請書の作成から申請書の受理に至るまで(承認に至るまで)の一連の操作のうち、どの申請書にも共通する機能について説明します。

まず申請書を作成してから受理されるまでのワークフローを以下に示します。



4.2 申請参照画面

申請書参照画面は作成した申請書の内容を表示し、各更新操作の起点となる画面です。



申請参照画面 表示内容

No	項目名	説明
1	申請情報表示エリア	申請件名、および現在の申請状況を表示します。
2	更新・コメント履歴	対象の申請書の更新履歴を古い順に表示します。更新
		時に付与されたコメントを合わせて表示します(長い
		コメントは別画面で参照できます)。申請状況が「下書
		き」の場合は履歴自体が表示されません。
3	申請更新ボタン	申請状況に応じた更新ボタンのうち、利用頻度が高い
		ボタンが表示されます。詳細は後述の「申請状況にお
		ける更新ボタン一覧」を参照ください。
4	その他の更新ボタン	ボタンクリックすると、申請状況に応じた更新ボタン
		のうち、利用頻度が少ないボタンがドロップアップで
		表示されます。詳細は後述の「申請状況における更新
		ボタン一覧」を参照ください。
(5)	申請内容を編集ボタン	対象の申請書の編集画面に遷移します。申請書の提出

		後であっても変容の編集は可能です。
6	コメント入力欄	申請書に対するコメントを登録できます。申請状況が
		「下書き」の場合は表示されません。
7	申請内容表示エリア	対象の申請書の内容を表示します。

申請状況における更新ボタン一覧

申請状況	申請更新ボタン	その他の更新ボタン
下書き	[申請に進む※1]、	なし
	[破棄する※2]	
審査中	なし	[破棄する]、[取り下げる※3]
差し戻し	[修正申請※4]	[破棄する]
修正審査中	なし	[破棄する]、[取り下げる]
事前審査完了	[PDF 出力 ※ 5]、	[破棄する]、[取り下げる]
	[オンラインチェック※6]	
押印済み	なし	[破棄する]、[取り下げる]、[PDF 出力]
承認	なし	[取り下げる]、[PDF 出力]

- ※1. 申請提出画面に遷移します。
- ※2. 申請書を破棄します。 破棄された申請書は表示されなくなり、元に戻すことはできません。
- ※3. 申請状況が「差し戻し」になり、更新通知メールが送信されます。
- ※4. 申請状況が「修正審査中」になり、更新通知メールが送信されます。
- ※5. 申請書を PDF ファイルとして出力します。
- ※6. 申請状況が「修正審査中」になり、更新通知メールが送信されます。

4.3 申請編集画面

申請編集画面は、申請の内容を編集・保存するための画面です。



申請編集画面 表示内容

No	項目名	説明
1	申請内容編集エリア	対象の申請書の内容を編集します。申請書ごとに表示
		される項目は異なります。
2	編集完了ボタン	入力内容を保存します。保存後は申請参照画面に遷移
		します。
3	キャンセルボタン	入力内容を破棄して、申請参照画面に戻ります。

4.4 申請提出画面

申請提出画面は、申請書を提出するための画面です。申請参照画面から「申請に進む」ボタンをクリックして遷移します(このボタンは下書き状態の申請書の場合のみ表示されます)。



申請編集画面 表示内容

No	項目名	説明
1	申請内容確認エリア	対象の申請書の内容を表示します。申請書ごとに表示
		される項目は異なります。
2	コメント入力欄	申請コメントを入力します。
3	この内容で申請するボタ	表示されている内容で申請を行います。申請状況が審
	ン	査中に変わり、更新通知メールが送信されます。更新
		後は申請参照画面に遷移します。
4	キャンセルボタン	申請編集画面に戻ります。

4.5 申請書 更新通知メール

申請状況が更新されると、申請者に対して更新通知メールが送信されます。利用者による更 新だけでなく、事務局の担当者によって更新された場合も申請者に送信されます。

申請書 更新通知メール (赤字部分はシステムが生成します)

件名

UPKI 申請システム 申請書更新通知メール

本文

<UPKI 申請システム>

以下の申請書が【更新者名】により更新されました。

【申請書 URL】

ステータス: **【更新後の申請状況】** に変更 コメント:

【更新コメント】

このメールは UPKI 申請システムにより自動送信されています。 UPKI 申請申請システムに対するお問い合わせはこちらまで。

<certs@nii.ac.jp>

4.6 申請一覧

申請一覧画面は、作成した申請書を検索、一覧表示する画面です。



申請編集画面 表示内容

No	項目名	説明
1	検索条件入力エリア	申請書を検索する条件を指定します。申請更新日、申
		請種類、申請状況を検索条件として指定することがで
		きます。
2	検索するボタン	指定された検索条件に従って申請書の検索を行い、検
		索結果を申請一覧エリアに表示します。
3	条件クリアボタン	検索条件を画面初期表示時の状態に戻します。
4	ページ送りリンク	検索結果が複数ページに跨る場合に、検索結果ページ
		の遷移を行います。
4	申請一覧エリア	検索結果となる申請書を一覧表示します。申請書のリ
		ンクをクリックすると申請参照画面に遷移します。

4.7 オンラインチェック

オンラインチェックとは機関責任者による申請書への押印を代替する機能です。機関情報変更申請にて、機関責任者のクライアント証明書の主体者 DN が登録されている場合のみ、有効になります。

1. 機関責任者のクライアント証明書でログインし、申請状況が「事前審査完了」の申請書申請参照画面を開くと、オンラインチェックボタンが表示されます。



2. オンラインチェックボタンをクリックします。

3. 申請状況が押印済みに更新され、申請書の機関責任者(自著)の欄に機関責任者名が表示されます。



5 申請書作成・編集

当システムが提供する各申請書の作成・編集画面について説明します。

5.1 サービス利用申請

サービス利用申請は、サービス利用申請、マスタ登録依頼申請の2つの入力フォームからなります。

5.1.1 サービス利用申請

サービス利用申請画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能文	入力可能文字種
		字数	
申請日	テキスト入力	10	日付(YYYY/MM/DD)
申請者役職	テキスト入力	1~25	制限なし
申請者氏名	テキスト入力	1~30	制限なし
参加申請種別	リストボックス		
機関名(日本語表記)	テキスト入力	1~40	制限なし
機関名(英語表記)	テキスト入力	1~64	半角英数字、半角記号
所在地(郵便番号)	テキスト入力	7	制限なし
所在地(住所)	テキスト入力	1~45	制限なし
機関責任者氏名(姓)	テキスト入力	1~15	制限なし
機関責任者氏名(名)	テキスト入力	1~15	制限なし
機関責任者所属	テキスト入力	1~40	制限なし
機関責任者職名	テキスト入力	1~25	制限なし
機関責任者電話番号	テキスト入力	1~15	半角数字
機関責任者 Email	テキスト入力	1~50	半角英数字、半角記号
機関責任者郵便番号	テキスト入力	7	半角数字
機関責任者住所	テキスト入力	1~45	制限なし
機関の区分	リストボックス		
構成員数	リストボックス		
サービス利用開始日	リストボックス		
経理担当者氏名(姓)	テキスト入力	1~15	制限なし
経理担当者氏名(名)	テキスト入力	1~15	制限なし
経理担当者所属	テキスト入力	1~40	制限なし

経理担当者職名	テキスト入力	1~25	制限なし
経理担当者電話番号	テキスト入力	1~15	半角数字
経理担当者 FAX	テキスト入力	1~15	半角数字
経理担当者 Email	テキスト入力	1~50	半角英数字、半角記号
請求書送付先郵便番号	テキスト入力	7	半角数字
請求書送付先住所	テキスト入力	1~45	制限なし
備考	テキスト入力	1~1000	制限なし

サービス利用申請 編集画面

サービス利用申請	マスタ登録依頼由請_						
> C> (49/10 Trial	工场队积下册		赤い*印(アスタリ	スク) は必須1-	加賀日です		
				年/月/日	JAC 9		
	UPKI電子証明書発	行サーヒス 利用	甲請				
国立情報学研究所長 殿	国立情報学研究所長 殿						
		申請者役職*	申請者役職		0.000		
		申請者氏名*	申請者氏名		公印❶		
UPKI電子証明書発行サービ し、次のとおり申請します。	スの利用について「国立情報	学研究所UPKI電子証明書	#発行サービス利	用規程」を選	≨ 夺		
参加申請種別 <mark>◎</mark>	選択してください	<u> </u>					
「属機関							
機関名(日本語表記)	機関名 (日本語表記)						
機関名(英語表記)	機関名(英語表記)						
所在地 <mark>。</mark>	所在地住所						
幾関責任者ۅ							
氏名*	姓	名					
所属*	所属						
 職名 <mark>☀</mark>	職名						
電話番号:							
E-Mail *	メールアドレス						
所属住所●	▽所属機関所在地と同じ						
71 MB 1271 -							
区分・構成員数等							
機関の区分 <mark>→</mark>	選択してください				-		
構成員数●	選択してください	-					
	常勤の教員と研究者数の合計を選		は含みません。				
利用開始希望日業	年 月 -	18 -					
坚理担当者●							
氏名*	姓	名					
担当部署(役職)**	所属						
職名*	職名						
電話番号*							
FAX番号。							
E-Mail •	メールアドレス✓所属機関所在地と同じ						
請求書送付先業	〒 -						
请考							
備考							

5.1.2 マスタ登録依頼申請

マスタ登録依頼申請画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能	入力可能文字種
		文字数	
会社名	テキスト入力	1~40	制限なし
代表者名	テキスト入力	1~30	制限なし
電話番号	テキスト入力	1~15	半角数字
担当者名	テキスト入力	1~30	制限なし
取引先名(カナ)	テキスト入力	1~60	全角カタカナ
取引先名	テキスト入力	1~40	制限なし
郵便番号	テキスト入力	7	制限なし
住所	テキスト入力	1~45	制限なし
電子メールアドレス	テキスト入力	1~50	半角英数字、半角記号
金融機関名	テキスト入力	1~20	制限なし
金融機関コード	テキスト入力	4	半角数字
支店名	テキスト入力	1~20	制限なし
支店コード	テキスト入力	3	半角数字
口座番号	テキスト入力	7	半角数字
預貯金種別	リストボックス		
口座名義(カナ)	テキスト入力	1~30	全角カナ
口座名義	テキスト入力	1~30	制限なし
資本金額又は出資金額	テキスト入力	1~9	半角数字(999,999,999 を最
			大とする)
従業員数	テキスト	1~5	半角数字(99,999 を最大とす
			る)
業種	リストボックス		
設立年(西暦)	テキスト入力	1~4	半角数字

マスタ登録依頼申請 編集画面



5.2 ドメイン申請

ドメイン申請は、ドメイン申請、確認実施手順調査票、機関責任者確認事項の3つの入力フォームからなります。

5.2.1 ドメイン申請

ドメイン申請画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能 文字数	入力可能文字種
申請日	テキスト入力	10	目付(YYYY/MM/DD)
申請種別	リストボックス		
対象ドメイン	テキスト入力	1~64	半角英数字、半角記号
用途	テキスト入力	1~1000	制限なし
登録担当者1氏名(姓)	テキスト入力	1~15	制限なし
登録担当者1氏名(名)	テキスト入力	1~15	制限なし
登録担当者1氏名	テキスト入力	1~20	半角英数字、半角記号
(ローマ字姓)			
登録担当者1氏名	テキスト入力	1~20	半角英数字、半角記号
(ローマ字名)			
登録担当者1所属	テキスト入力	1~40	制限なし
登録担当者1職名	テキスト入力	1~25	制限なし
登録担当者1電話番号	テキスト入力	1~15	半角数字
登録担当者 1 FAX	テキスト入力	1~15	半角数字
登録担当者 1 Email	テキスト入力	1~50	半角英数字、半角記号
登録担当者1郵便番号	テキスト入力	7	制限なし
登録担当者1住所	テキスト入力	1~45	制限なし

[※]登録担当者は「担当者を追加」ボタンをクリックすることで最大20名まで追加可能。

ドメイン申請 編集画面

		đ	iい*印 (アスタリスク)	は必須入力項目です	
			申請日* 年/月	1/日	
ι	JPKI電子証明書発	行サービス ドメイン	中請書		
国立情報学研究所長 御	+	所属	機関名 サンプ	ル大学	
		機関責任者	計(自著)	印	
次のとおりUPKI電子ii	正明書発行サービスのドメイ	ン利用を申し込みます。			
申請種別☀	選択してください	v			
象ドメイン		_			
	ALCO IN A A				
対象ドメイン*	対象ドメイン	114			
用途 <mark>。</mark>	対象トクインの利用が	対象ドメインの利用用途			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				228	
	[
氏名*	姓	名			
氏名(ローマ字)*	姓ローマ字	名ローマ字			
所属 * 	所属 職名				
難名 <mark>☀</mark> 	明石				
電脳銀行業 E-Mail⊗	メールアドレス				
iviali* 	2. 707 II DX				
	✓ サーバ証明書	 クライアント証明書 ② コー	ド署名証明書	●説明	
	☑所属機関所在地と				
所属住所*	〒 -				
	担当者を追加				
		「るにはこのボタンを押してください。			

5.2.2 確認実施手順調査票

確認実施手順調査票画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能	入力可能文字種
		文字数	
確認 1-1	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 1-2	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 1-3	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 2-1	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 2-2	テキスト入力	1~1000	制限なし

確認 2-3	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 2-4	テキスト入力	1~1000	制限なし
体制図	添付ファイル		

確認実施手順調查票 編集画面

UPKI申請システム » ドメイン申請 » 編集	
ドメイン申請 確認実施手順調査票 機関責任者確認	事項
ALIONAIG STORYMAN	赤い*印(アスタリスク)は必須入力項目です
確認実施手順調查覽	景
回答例の「適切な判断規準」を参考に、貴機関において実施される確認確認時には様々な状況が考えられますので、様々なパターンの確認手順	
ドメイン名 sample-univ.ac.jp	
複数ドメインをもっている場合であっても、それぞれのドメインについ 他ドメインの調査票に記述した内容と同一の項目については「○○と同い)と書いて省略してもかまいません。	
1. 参加申請について	
機関責任者が参加申請書を記述するにあたって、以下の項目をどのように	確認したのかを教えてください。
1-1. ドメインを組織が保有または管理していることの確認* 申請するドメインを組織が保有または管理していることを、「どのよ 確認を行い、「どのように承諾を得た」かを教えてください。	うな情報」をもとに、「どのような方法で」
1-2. 登録担当者の本人性確認* 登録担当者の本人性確認を行うにあたって、「どのような情報」をも	とに、「どのような方法で」確認を行ったか
を教えてください。	
1-3. 登録担当者の実在性確認*	
登録担当者の実在性確認(機関内で、機関責任者の指示命令系統下に て、「どのような情報」をもとに、「どのような方法で」確認を行っ	
2. 発行申請書について 登録担当者が発行申請書を承認、事務局へ送付するにあたって、以下の項 ださい。	目をどのような方法で確認するのかを教えてく
2-1. 利用管理者の本人性確認* 利用管理者の本人性確認を行うにあたり、「どのような情報」をもと 性を確認できたと判断するのか、判断規準を被えてください。	に、「どのような方法で」確認したら、本人
2-2. 利用管理者の実在性確認* 利用管理者の実在性確認を行うにあたり、「どのような情報」をもと 性を確認できたと判断するのか、判断規準を載えてください。	に、「どのような方法で」確認したら、実在
	di di
2-3.利用管理者が管理する電子証明書の管理責任確認* 利用管理者が管理する電子証明書の管理責任確認を行うにあたり、「 法で」確認したら、管理責任を確認できたと判断するのか、判断規準	
	li.
2-4. ドメインの実在性確認* ドメインの実在性確認を行うにあたり、「どのような情報」をもとに を確認できたと判断するのか、判断規準を教えてください。	、「どのような方法で」確認したら、実在性
	h
3. 体制図について*	
体制図を記載したファイルを添付してください。テンプレートは <u>こちら</u> か	らダウンロードできます。
体制図: <u>upload file xisx</u> 上添付する 添作できるのは 1ファイルだけです。すでに添付された状態でフップロードすると前の	ウファイルを ト書き L ます。
編集完了 キャンセル	Verif

5.2.3 機関責任者確認事項

機関責任者確認事項画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能 文字数	入力可能文字種
ドメインの本人性確認	ラジオボタン		
登録担当者の本人性確認	ラジオボタン		
登録担当者の実在性確認	ラジオボタン		
確認実施手順調査票の確認	ラジオボタン		
その他	テキスト入力	1~1000	制限なし

機関責任者確認事項 編集画面

			マリスク)は必須入力項目です 平成 28年 12月 21日	
			干成 26年 12月 21日	
	機関責任者確認事項			
			サンプル大学	
		機関責任者	山田太郎	
(1) 以下の	項目について確認の上,確認欄から該当する選択肢を選んでく	ださい。		
ドメイン登録担	当者への確認(ドメインの本人性確認)			
○ [OK] ○ [NG]	対象ドメインでのサーバ証明書発行を、機関責任者及び登 メイン登録担当者[1]の承諾を得た。	録担当者が担当す	することについて, ド	
[1] ドメイン登録担当	者とは、ドメイン名の保有に対して責任を持つ者である。JPRSが提供するWr	noisサービスにおいて	「登録担当者」と呼ばれる。	
登録担当者から	の承諾 (登録担当者の本人性確認)			
○ [0K]	確認実施手順調査票で定めた手順をもとに、登録担当者が	サービス利用規模	星を理解し、利用規程	
O [NG]	第4条に定める事項について承諾していることを確認した。			
登録担当者の記	載内容の確認(登録担当者の実在性確認)			
O [OK]	ドメイン申請書に記載した全ての登録担当者情報について	重宝と相違なし	ハことを確認した。	
O [NG]	TO TO THE BUILDING OF COMMENTS	- FXCIDALO	0 0 0 0 0 0 0 0	
確認実施手順調	査票の確認			
O [OK]	確認実施手順調査票に記載した全ての情報について、事実	と相違ないことを	を確認した。	
O [NG]				
○ [NG] その他	环頃などありましたらご記入ください			
○ [NG] その他	环頃などありましたらご記入ください			
○ [NG] その他	項などありましたらご記入ください			

5.3 機関情報変更申請

機関情報変更申請は、機関情報変更申請、機関責任者確認事項の2つの入力フォームからなります。

5.3.1 機関情報変更申請

機関情報変更申請画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能文	入力可能文字種
		字数	
申請日	テキスト入力	10	日付(YYYY/MM/DD)
機関名・所在地変更種別	ラジオボタン		
機関名(日本語表記)	テキスト入力	1~40	制限なし
機関名(英語表記)	テキスト入力	1~64	半角英数字、半角記号
所在地(郵便番号)	テキスト入力	7	制限なし
所在地(住所)	テキスト入力	1~45	制限なし
機関責任者変更種別	ラジオボタン		
機関責任者氏名(姓)	テキスト入力	1~15	制限なし
機関責任者氏名(名)	テキスト入力	1~15	制限なし
機関責任者所属	テキスト入力	1~40	制限なし
機関責任者職名	テキスト入力	1~25	制限なし
機関責任者電話番号	テキスト入力	1~15	半角数字
機関責任者 Email	テキスト入力	1~50	半角英数字、半角記号
機関責任者クライアント	テキスト入力	1~250	半角英数字、半角記号
証明書主体者 DN			
機関責任者郵便番号	テキスト入力	7	半角数字
機関責任者住所	テキスト入力	1~45	制限なし
機関の区分変更種別	ラジオボタン		
機関の区分	リストボックス		
構成員数変更種別	ラジオボタン		
構成員数	リストボックス		
経理担当者変更種別	ラジオボタン		
経理担当者氏名(姓)	テキスト入力	1~15	制限なし
経理担当者氏名(名)	テキスト入力	1~15	制限なし
経理担当者所属	テキスト入力	1~40	制限なし
経理担当者職名	テキスト入力	1~25	制限なし

経理担当者電話番号	テキスト入力	1~15	半角数字
経理担当者 FAX	テキスト入力	1~15	半角数字
経理担当者 Email	テキスト入力	1~50	半角英数字、半角記号
請求書送付先郵便番号	テキスト入力	7	半角数字
請求書送付先住所	テキスト入力	1~45	制限なし

機関情報変更申請 編集画面



5.3.2 機関責任者確認事項

機関責任者確認事項画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能	入力可能文字種
		文字数	
旧機関責任者からの承認	ラジオボタン		
旧機関責任者氏名	テキスト入力	1~30	制限なし
その他	テキスト入力	1~1000	制限なし

機関責任者確認事項 編集画面



5.4 登録担当者情報変更届

登録担当者情報変更届は、登録担当者情報変更届、確認実施手順調査票、機関責任者確認事項の3つの入力フォームからなります。

5.4.1 登録担当者情報変更届

登録担当者情報変更届画面ではまず対象のドメインを選択します。

登録担当者情報変更届 ドメイン選択画面



ドメイン選択後、登録担当者情報変更届画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能	入力可能文字種
		文字数	
申請日	テキスト入力	10	目付(YYYY/MM/DD)
登録担当者1変更種別	リストボックス		
登録担当者1氏名(姓)	テキスト入力	1~15	制限なし
登録担当者1氏名(名)	テキスト入力	1~15	制限なし
登録担当者1氏名	テキスト入力	1~20	半角英数字、半角記号
(ローマ字姓)			
登録担当者1氏名	テキスト入力	1~20	半角英数字、半角記号
(ローマ字名)			

登録担当者1所属	テキスト入力	1~40	制限なし
登録担当者1職名	テキスト入力	1~25	制限なし
登録担当者1電話番号	テキスト入力	1~15	半角数字
登録担当者 1 FAX	テキスト入力	1~15	半角数字
登録担当者 1 Email	テキスト入力	1~50	半角英数字、半角記号
登録担当者1郵便番号	テキスト入力	7	制限なし
登録担当者1住所	テキスト入力	1~45	制限なし

※登録担当者は選択したドメインの担当者として登録されている人数分が編集対象となる。また、「担当者を追加」ボタンをクリックすることで最大20名まで追加可能。

登録担当者情報変更届 編集画面

登録担当者情報変更	夏届 確認実施手順調査	票 機関責任者確			
			赤い*印 (アスタリスク) 申請日 * 年/月		
			4//5	/ H	
UPKI電子記	証明書発行サービス	登録担当者変更	届		
国立情報学研究所 御中					
国立旧报子的70071 四·1·		Ē	所属機関名 サンプル	レ大学	
		機関責	任者(自著)	EP O	
次のとおりUPKI電子	証明書発行サービスに登録した	登録担当者の変更を届け	出ます。		
ch State OII	LIDIZI原フsT四字やた4	나 아래티까요~===			
申請種別 機関名	UPKI電子証明書発行サ サンプル大学	ービス 登録担当者変更届			
対象ドメイン	sample-univ.ac.jp				
於録担当者]					
	の登録担当者を削除します (の通り変更します	●説明	
氏名	μш	太郎			
氏名(ローマ字) 	YAMADA	Taro			
所属 ————————————————————— 職名	情報工学部				
	運用主任				
電話番号 	999-999-9999				
c-iviali FAX番号	yamada.taro@sample	e-univ.ac.jp			
FAX番号 申請できる証明書	999-999-9999	ライアント証明書 🛂コ	ード署名証明書		
7 ms C 0 mc 7 m	☑		,		
所属住所	₹ -				
	- 担当者を追加				
着考					
i 考					
備考					

5.4.2 確認実施手順調査票

確認実施手順調査票画面では以下の項目を入力します。 これらは、回答例(画面中にリンクがあります)を参考に記述してください。

入力項目名	入力方法	入力可能	入力可能文字種
		文字数	
確認実施手順変更種別	ラジオボタン		
確認 1-1	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 1-2	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 1-3	テキスト入力	1~1000	制限なし

確認 2-1	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 2-2	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 2-3	テキスト入力	1~1000	制限なし
確認 2-4	テキスト入力	1~1000	制限なし
体制図	添付ファイル		

確認実施手順調査票 編集画面

	確認実施手順調査票	機関責任者確	認事項		
	確認実施	手順調査票	赤い*印(アスタリスク)	は必須入力項目です	
変更しません ○以下の	とおり確認実施手順を変更しま				
	」を参考に、貴機関においてま えられますので、様々なパター				
複数ドメインをもっている	e-univ.ac.jp 場合であっても、それぞれのド した内容と同一の項目について まいません。				
1. 参加申請について					
機関責任者が参加申請書を話	述するにあたって、以下の項目	をどのように確認した	このかを教えてください	ho.	
申請するドメインを組織	有または管理していることの が保有または管理していること に承諾を得た」かを教えてくた	を、「どのような情報	丞」をもとに、「どのよ	うな方法で」	
1-2. 登録担当者の本人性 登録担当者の本人性確認 を教えてください。	確認* を行うにあたって、「どのよう	な情報」をもとに、	「どのような方法で」桶	認を行ったか	
1-3. 登録担当者の実在性	確認*			lis	
	(機関内で、機関責任者の指示 をもとに、「どのような方法で			行うにあたっ	
				1	
登録担当者が発行申請書を承	認、事務局へ送付するにあたっ	て、以下の項目をどの	のような方法で確認する	のかを教えてく	
登録担当者が発行申請書を ださい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性確認	認、事務局へ送付するにあたっ	情報」をもとに、「と			
登録担当者が発行申請書を ださい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性確認	認、事務局へ送付するにあた。 確 認* を行うにあたり、「どのような	情報」をもとに、「と			
登録担当者が発行申請書を示 ださい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性確認 性を確認できたと判断す 2-2. 利用管理者の実在性 利用管理者の実在性確認	認、事務局へ送付するにあた。 確 認* を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくか	情報」をもとに、「とさい。	どのような方法で」確認	BUたら、本人	
登録担当者が発行申請書を現 ださい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性確認 性を確認できたと判断す セを確認できたと判断す 利用管理者の実在性解 利用管理者の実在性解 が 位を確認できたと判断す	認、事務局へ送付するにあた。 確認* を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた 確認* を行うにあたり、「どのような	情報。をもとに、「と さい。 情報。をもとに、「と さい。	どのような方法で」確認	BUたら、本人	
登録担当者が発行申請書を示 たさい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性確認 性を確認できたと判断す 性を確認できたと判断す 利用管理者の実在性 利用管理者の実在性 が 性を確認できたと判断す 利用管理者が管理する電 利用管理者が管理する電	認、事務局へ送付するにあた・ 確認・ を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた を行うにあたり、「どのような を行うにあたり、「どのような	情報。をもとに、「と さい。 情報。をもとに、「と さい。 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	でのような方法で」 確談 でのような方法で、確認 でのような方法で、確認 な情報。をもとに、	おしたら、本人	
登録担当者が発行中請書を示 たさい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性確認 性を確認できたと判断が 性を確認できたと判断が 2-2. 利用管理者の実在性 利用管理者が管理する 利用管理者が管理する電 利用管理者が管理する電	認、事務局へ送付するにあた・ 確認* を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた るのか、判断規準を教えてくた る電子証明書の管理責任確認を行う 子証明書の管理責任確認を行う	情報。をもとに、「と さい。 情報。をもとに、「と さい。 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	でのような方法で」 確談 でのような方法で、確認 でのような方法で、確認 な情報。をもとに、	おしたら、本人	
ださい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性強 性を確認できたと判断す 2-2. 利用管理者の実在性 利用管理者の実在性 性を確認できたと判断す 4. 利用管理者が管理する環 法で、確認したら、管理 による。 ドメインの実在性確認を ドメインの実在性確認を	認、事務局へ送付するにあた。 確認・ を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた るでか、判断規準を教えてくた る電子証明書の管理責任確認を行う 責任を確認できたと判断するの	情報。をもとに、「とさい。 情報。をもとに、「とさい。 「情報」をもとに、「とさい。 「とのようない。」 「どのようななって、「どのようななって、」 「であたり、「どのようななって、」 「であたり、「どのようななって、」 「であたり、「どのようななって、」	ごのような方法で」確認 ごのような方法で」確認 ごのような方法で」確認 がな情報。をもとに、 くください。	おしたら、本人	
登録担当者が発行申請書を示 ださい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性確認できたと判断す 性を確認できたと判断す 2-2. 利用管理者の実在性確認 性を確認できたと判断す 2-3. 利用管理者が管理する 活で」確認したら、管理 ドメインの実在性確認を を確認できたと判断する	認、事務局へ送付するにあた・ 確認・ を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた るのか、判断規準を教えてくた るで子証明書の管理責任確認 子証明書の管理責任確認を行き 責任を確認できたと判断するの	情報。をもとに、「とさい。 情報。をもとに、「とさい。 「情報」をもとに、「とさい。 「とのようない。」 「どのようななって、「どのようななって、」 「であたり、「どのようななって、」 「であたり、「どのようななって、」 「であたり、「どのようななって、」	ごのような方法で」確認 ごのような方法で」確認 ごのような方法で」確認 がな情報。をもとに、 くください。	おしたら、本人	
登録担当者が発行申請書をみたさい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性 利用管理者のまたと判断す 2-2. 利用管理者の実在性 利用管理者が管理する を確認できたと判断す 2-3. 利用管理者が管理する ※ 第3 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	認、事務局へ送付するにあた・ 確認・ を行うにあたり、「どのようなるのか、判断規準を教えてくた るのか、判断規準を教えてくた を行うにあたり、「どのようなるのか、判断規準を教えてくた る電子証明書の管理責任確認を行う責任を確認できたと判断するの という。 ないまする。 ないまするないまする。 ないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまなないまするないまなないまなない	情報。をもとに、「とさい。 情報。をもとに、「とさい。 ** にあたり、「どのようか、判断規準を教えて 報』をもとに、「どのい。	でのような方法で、確認 でのような方法で、確認 のような方法で、確認 のような方法で、確認 のような方法で、確認 のような方法で、確認し	おしたら、本人	
登録担当者が発行申請書をみたさい。 2-1. 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性 利用管理者の本人性 利用管理者のまたと判断す 2-2. 利用管理者の実在性 利用管理者が管理する を確認できたと判断す 2-3. 利用管理者が管理する ※ 第3 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	28、事務局へ送付するにあた・ 28 を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた 28 を行うにあたり、「どのような るのか、判断規準を教えてくた るのか、判断規準を教えてくた る電子証明書の管理責任確認を行う 責任を確認できたと判断するの のか、判断規準を教えてくたさ のか、判断規準を教えてくださ	情報。をもとに、「とさい。 情報。をもとに、「とさい。 ** にあたり、「どのようか、判断規準を教えて 報』をもとに、「どのい。	でのような方法で、確認 でのような方法で、確認 のような方法で、確認 のような方法で、確認 のような方法で、確認 のような方法で、確認し	おしたら、本人	

5.4.3 機関責任者確認事項

機関責任者確認事項画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能文	入力可能文字種
		字数	
登録担当者の実在性確認(情報変	ラジオボタン		
更を行う場合)			
登録担当者の本人性確認	ラジオボタン		
登録担当者の実在性確認(追加登	ラジオボタン		
録もしくは交代を行う場合)			
その他	テキスト入力	1~1000	制限なし

機関責任者確認事項 編集画面

	報変更届確認実施手順調查票機関責任者確認事項	
	赤い*印(アスタリスク)は必須入力項目です 平成 28年 12月 21日	
	TM 204 12月 21日	
	機関責任者確認事項	
	対象ドメイン sample-univ.ac.jp	
(1) 以下の項	頁目について確認の上,確認欄から該当する選択肢を選んでください。	
For the least of		
【登録担当者の	り「情報変更」を行う場合】	
登録担当者の記載	成内容の確認 (登録担当者の実在性確認)	
【確認済】【未確認】	対象となる登録担当者について、本届に記載した登録担当者情報が事実と相違ないことを確認し た。	
【登録担当者の	D「追加登録」もしくは「交代」を行う場合】	
登録担当者からの	の承諾(登録担当者の本人性確認)	
○【確認済】 ○【未確認】	登録の対象となる登録担当者について、確認実施手順調査票で定めた手順をもとに、登録担当者がUPKI電子証明書発行サービス利用規程を理解し、第4条に定める事項について承諾していることを確認した。	
登録担当者の記載	成内容の確認(登録担当者の実在性確認)	
○【確認済】 ○【未確認】	登録の対象となる登録担当者について、本届に記載した登録担当者情報が事実と相違ないことを 確認した。	
その他		
	頁などありましたらご記入ください	
	頁などありましたらご記入ください	

5.5 利用期間更新申請

利用期間更新申請画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能 文字数	入力可能文字種
申請日	テキスト入力	10	日付(YYYY/MM/DD)
備考	テキスト入力	1~1000	制限なし

利用期間更新申請 編集画面



5.6 登録担当者用証明書更新申請

登録担当者用証明書更新申請は、以下の入力フォームのみからなります。また、他の申請書にあるような事務局による事前審査は必要なく、申請のみでワークフローは完了となります。

5.6.1 登録担当者用証明書更新申請

登録担当者用証明書更新申請画面では以下の項目を入力します。

入力項目名	入力方法	入力可能	入力可能文字種
		文字数	
本人確認	チェックボックス	-	-
更新対象の証明書確認	チェックボックス	-	-

登録担当者用証明書更新申請画面

		平成 28年 12月 21日
UPKI申請システム 登録担当者用証明	事更新申請	
国立情報学研究所 御中		
	機関名	サンプル大学
	ドメイン名	sample-univ.ac.jp
	登録担当者名	テスト登録太郎
UPKI申請システム 登録担当者用証明書の更新を申し込みます。		
確認		
□ 私は テスト登録太郎 本人に相違ありません。		
□ 私は登録担当者用証明書の更新を申請します。更新対象の証明書	t.	
 主体者DN「CN=Torokutaro Test,OU=test-univ.ac.jp, O シリアル「1234567890」 で相違ありません。 	=Test University, L=A	Academe, C=JPJ